

和歌山縣報

第三百四十二號

大正五年一月十八日

○縣令

○和歌山縣令第五號

明治三十四年^{十二月}和歌山縣令第百十七號東亞同文書院縣費留學生ニ關スル規程左ノ通改正ス
大正五年一月十八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

東亞同文書院縣費留學生ニ關スル規程

第一條 東亞同文書院縣費留學生ハ毎年二名ヲ選定シテ派遣ス但シ時宜ニヨリ人員ヲ減シ又ハ派遣セサルコトアルヘシ

第二條 留學生ハ左ノ資格ヲ有スル者ヨリ知事之ヲ選定ス

一 縣内ニ本籍ヲ有シ且ツ居住スル者

二 留學スヘキ年ノ八月末日ニ於テ年齡二十五年未滿ノ者

三 身體強健志望堅實ニシテ品行端正ナル者

四 中學校ヲ卒業シ又ハ專門學校入學者檢定規定ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者若ハ同規程第八條第一號ニ依リ指定ヲ受ケタル者但シ甲種商業學校卒業者ニシテ商務科ヲ志望スル者ハ之ニ準ス

第三條 留學生タラントスル者ハ履歷書、身體檢查書、戸籍謄本、學校長ノ證明アル學業成績書及人物考定書ヲ具シ推薦方ヲ郡市長ニ願出ツヘシ

郡市長ニ於テ前項ノ出願ヲ受ケ適當ト認メタルトキハ詳細意見ヲ具シ知事ニ推薦スヘシ

第四條 留學生ノ選拔ハ學力、體格及人物ヲ考查シテ之ヲ定ム

學力試驗ハ國語、漢文、地理、歷史、英語、數學ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第五條 留學生ニハ學資トシテ三ケ年間毎月金貳拾五圓ヲ縣費ヨリ支給ス但シ時宜ニ依リ支給年限ヲ延長スルコトアルヘシ

前項ノ學資金ハ知事ヨリ直ニ東亞同文會長ニ託シ之ヲ交付スルモノトス

第六條 留學生派遣又ハ卒業歸朝ノ際ハ旅費トシテ金四拾圓ヲ支給ス

第七條 留學生ハ卒業後七ケ年間貿易又ハ教育等知事ノ認可ヲ受ケタル業務ニ従事スル義務ヲ有ス

前項ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ業務ノ種類、從業ノ場所契約期間等ヲ具シ知事ニ申請スヘシ爾後業務又ハ從業ノ場所ヲ變更シ若ハ契約ヲ更改セントスルトキハ更ニ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 留學生ハ前條ノ服務期間中毎年七月限り服務狀況ノ報告並其ノ業務ニ關スル論文ヲ知事ニ提出スヘシ

第九條 留學生ニシテ自己ノ便宜ニ依リ半途退學スル者又ハ疾病ノ故ニアラスシテ退學ヲ命セラレタル者又ハ第七條ノ義務ヲ盡ササル者ハ支給ノ學資金ヲ一時ニ償還セシム但シ情狀ニ依リ學資ノ一部又ハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第十條 留學生ニ選定セラレタル者ハ第一號書式ノ誓約書ニ第二號書式ノ保證書ヲ添ヘ知事ニ差

出スヘシ

第十一條 保證人ハ二名トシ縣内ニ住所ヲ有シ獨立ノ生計ヲ營ミ相當ノ資産ヲ有スル成年以上ノ男子トス

前項ノ保證人不適當ト認メタルトキハ更改セシムルコトアルヘシ

第十二條 保證人死去シ若ハ其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ之ヲ定メ第二號書式ニ準シ保證書ヲ提出スヘシ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第一號書式(用紙美濃野紙)

誓 約 書

私儀東亞同文書院縣費留學生ニ御選定相成候上ハ同院規則確守スヘキハ勿論留學生ニ關スル御縣規程ハ必ス履行可致依テ誓約書差出候也

年 月 日

本籍族稱

住 所

職業戶主又ハ何某子弟

氏

名 印

生 年 月 日

和歌山縣知事 鹿子木小五郎殿

第二號書式(用紙美濃野紙)

保 證 書

右ノ者東亞同文書院縣費留學生ニ御選定相成候ニ付テハ在學中ハ勿論義務年限中本人一身上ニ
關スル事件ハ拙者ニ於テ渾テ引受可申依テ保證書差出候也
年 月 日

氏 名

本籍族稱

住 所

職業及本人トノ關係

氏

名

生 年 月 日

本籍族稱

住 所

職業及本人トノ關係

氏

名

生 年 月 日

和歌山縣知事殿

前書何某ハ當市町内ニ住所ヲ有シ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ其ノ納稅額左記ノ通相違無之候也
年 月 日

何市町村長 何 某 印

記									
國稅	地租	營業稅	所得稅	何々	一縣稅	戶數	家屋稅	地租	營業稅
金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何
程	程	程	程	程	程	程	程	程	程
一市(町)(村)稅									
戶數	家屋稅	地租	營業稅	所得稅	何々				
附加稅金	附加稅金	附加稅金	附加稅金	附加稅金	金				
何	何	何	何	何	何				
程	程	程	程	程	程				

所得稅附加税金
何々金
以上

何程
何程

○告示

○和歌山縣告示第十八號

海草郡加太町一千四百八十九番地

武内チカ

右今般婚姻ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス

大正五年一月十八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

海草郡加太町一千四百八十九番地

小泉チカ

○和歌山縣告示第十九號

大正四年十二月二十四日縣下西牟婁郡三川村大字念土山林内ニ於テ左記狩獵免狀遺失セシ旨届出
タリ

大正五年一月十八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

田第一二一號 大正四年十一月七日下午附

乙種三等狩獵免狀 壹枚

和歌山縣西牟婁郡豐原村大字木守九百八十

二番地平民

岡田熊次郎

明治十年六月四日生

○和歌山縣告示第二十號

大正五年一月十四日那賀郡池田村海神耕地整理整理組合長組合副長選任ノ件左ノ通認可セリ
大正五年一月十八日
和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

一、組合長

一、組合副長

坂上成美
井端龜藏

○和歌山縣告示第二十一號

有田郡田殿村役場位置ハ今般大字井口百二十七番地ニ變更セリ

大正五年一月十八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第二十二號

市町村立小學校公立實業補習學校教員並ニ公立幼稚園保母退職料遺族扶助料遺族扶助金及退職給與金受領手續別紙ノ通定メタル旨福岡縣ヨリ通知アリタリ

大正五年一月十八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

(別紙)

○福岡縣令第一號

明治四十年三月福岡縣令第一三號市町村立小學校公立實業補習學校教員並公立幼稚園保母退職料遺族扶助料遺族扶助金及退職給與金受領手續左ノ通改正シ大正五年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年一月六日

福岡縣知事 谷口留五郎

市町村立小學校公立實業補習學校教員並公立幼稚園保母

退職料遺族扶助料遺族扶助金退職給與金受領手續

第一條 退職料又ハ遺族扶助料ヲ受領セムトスル者ハ支給期月ノ七日迄ニ該証書ヲ居住地ノ市町村長ニ提示シ之カ檢閲ヲ受クヘシ但シ新ニ受領セムトスル者ハ其ノ居住地市町村ヲ經、受領地ヲ變更セシ者ハ新舊受領地ノ市町村長ヲ經テ豫メ其ノ旨届出ヘシ

第二條 市町村長ニ於テ前條ニ依リ証書ノ檢閲ヲ爲シタルトキハ左記ノ様式ニ依リ知事ニ報告スヘシ

第三條 退職料又ハ遺族扶助料ヲ受クル者死亡シ若ハ權利消滅シ又ハ公權ヲ停止セラレタルトキハ期月ニ係ラス前各條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料支給規則第十八條ノ届書ハ受領地ノ市町村長ヲ經テ知事ニ差出ヘシ

第五條 遺族扶助金退職給與金ヲ當廳ニ於テ受領セムトスル者ハ領收証ヲ携帶請求スヘシ又居住地ニ於テ受領セムトスル者ハ直接請求書ヲ知事ニ差出ヘシ

第六條 市役所町村役場ニ於テハ退職料及遺族扶助料受給者ニ係ル左記事項ヲ記載シタル臺帳ヲ設備シ証書檢閲ノ都度之ト照查スヘシ

一、証書番號及下付年月日

二、年金額一期給額及受給權利消滅又ハ停止ニ因ル給額

三、元職名(遺族扶助料ニ在ラハ故職氏名受給者トノ續柄)

四、受給者住所氏名

五、受給權利消滅又ハ停止ノ場合ハ其ノ年月日及事由

六、退隱料受給者ノ現職名及有給公務ニ就キタル給料額

樣式(用紙半紙界紙)

市町村立小學校(公立實業補習學校)教員(公立幼稚園保姆)

退隱料(遺族扶助料)証書檢閱報告

一金 何 程

但自何年何月何日至何年何月何日分

內 譯

証書番號	年 金 額	當 期 給 額	元職名(遺族扶助料ナルトキハ故職氏名及受給者トノ續柄)	住 所 氏 名	現職名及給料額

右証書檢閱済ニ付及報告候也

年 月 日

支出命令官福岡縣知事宛

縣郡(市)町(村)長 氏 名 印

備考

- 一、退隱料ト遺族扶助料トノ報告ハ各別ニスヘシ
- 一、新規受給若クハ受給權利消滅及停止ニ係ル報告ハ之ヲ各別表トシ新規受給ノモノハ其ノ起算ノ月及証書下付ノ年月日、受給權利消滅及停止ノモノハ其ノ事由並年月日、死亡等ニ依リ他人受領スルモノハ尙其ノ住所氏名及本人トノ續柄ヲモ備考ニ併記スヘシ
- 一、金額ノ數字ハ總テ壹貳參拾ノ字ヲ用ウヘシ
- 一、受給者無能力者ナルトキハ其ノ住所氏名ノ左側ニ法定代理人ノ住所氏名ヲ朱記スヘシ
- 一、檢閲報告様式中現職名及給料額ノ欄ハ遺族扶助料受給者ニハ適用セス

○通牒照會

○通牒

○官第五八號

大正五年一月十八日

知事官房

郡役所
市役所
町役場
御中

今回ノ戰役ニ際シ大正三年八月廿三日以降大正四年十一月六日マテノ間ニ於テ御部内從軍者家族戰死者遺族扶助ノ爲金品ヲ市町村ニ寄附シタル者有之候ハ、本年二月十日マテニ市長ハ直ニ町村長ハ郡長ヲ經テ一般寄附上申ノ例ニ依リ當廳ニ上申セラルヘシ

○ 辞 令

○大正五年一月十日

十級俸下賜

八級俸當分年俸
九百六拾圓下賜

○大正五年一月十二日

月俸拾五圓ヲ給ス

願ニ依リ職務ヲ免ス

○大正五年一月十三日

公有林野整理委員ヲ命ス

○大正五年一月十五日

任海草郡書記

給九級俸

統計吏員ヲ命ス

月俸拾貳圓ヲ給ス

月俸壹圓ヲ給ス

雇ヲ命ス

月俸拾貳圓ヲ給ス

知事官房文書係勤務ヲ命ス

伊都郡橋本町立高等女學校長

師範學校教諭

統計吏員

日高郡書記

勤七等

雇

石川 弘

宮澤 寅雄

松尾 貞四郎

津村 伊三郎

春山 彦也

西岡 重吉

西岡 重吉

河口 久次郎

○町村吏員ノ異動

○大正五年一月十三日認可

那賀郡長谷毛原村長 田下勘右衛門
同 郡麻生津村助役 藪添又太郎

○大正五年一月十五日認可

有田郡五村助役 一ノ瀬爲松

○彙報

○官廳事項

○轉任 北海道札幌師範學校教諭從七位宮澤寅雄ハ本年一月十日日本縣師範學校教諭ニ任セラレタリ
○改姓 日高郡書記赤阪直松ハ久保ト改姓ノ旨本年一月十一日届出タリ

○郡會招集

○那賀郡ニ於テハ大正五年一月二十四日ヲ期シ通常郡會ヲ招集ス
○有田郡ニ於テハ大正五年一月二十五日ヲ期シ通常郡會ヲ招集ス
○西牟婁郡ニ於テハ本月二十四日午前九時通常郡會ヲ招集ス

○郡會閉會

○大正五年一月十日招集ノ通常日高郡會ハ一月十五日閉會ス
○助成金交付 本縣ニ於テ本月十七日左記團體ニ對シ助成金ヲ交付セリ

和歌山市小松原通四丁目五番地

瑞 華 園

免囚保護ノ事ニ關シ從來盡力スル所尠カラス今後尙一層ノ效果ヲ收メムコトヲ望ム依テ茲ニ金八拾圓ヲ授與ス

大正五年一月十七日

和歌山縣知事從四位勳三等 鹿子木 小五郎

西牟婁郡田邊町大字上屋敷町百拾九番地

精 華 會

免囚保護ノ事ニ關シ從來盡力スル所尠カラス今後尙一層ノ效果ヲ收メムコトヲ望ム依テ茲ニ金參拾圓ヲ授與ス

大正五年一月十七日

和歌山縣知事從四位勳三等 鹿子木 小五郎

和歌山市岡林泉寺町林泉寺内

和歌山市佛教各宗協同會附設

醇 厚 院

免囚保護ノ事ニ關シ從來盡力スル所尠カラス今後尙一層ノ效果ヲ收メムコトヲ望ム依テ茲ニ金參拾圓ヲ授與ス

大正五年一月十七日

和歌山縣知事從四位勳三等 鹿子木 小五郎

○ 褒 賞

○賞與 大正四年中ニ於ケル本縣賞與施行ノ狀況左ノ如シ

水杯ヲ賜ヒシ者		金員ヲ賜ヒシ者		褒賞ヲ賜ヒシ者		縣報ニ表彰セシ者		合計		金員ヲ賜ヒシ金額	
組	箇	ヒシ者	ヒシ者	ヒシ者	ヒシ者	ヒシ者	ヒシ者				
人命ヲ救助セシ者	一	一	一	一	一	一	一	五二	六七、〇〇〇		
德行 者	一	一	一	一	一	一	一	四	一、〇〇〇		
公益ヲ興セシ者	一	一	一	一	一	一	一	一			
公同事務ニ勤勉セシ者	一	一	一	一	一	一	一	一			
金穀財産等ヲ寄附セシ者	一	一	一	一	一	一	一	一			
合計	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	一、四八四	一、五四〇	七九、〇〇〇	

〇衛生

〇自十一月廿一日至十一月卅日狩宿村「トラホーム」患者治療旬報

種別

生徒患者 五二名

其他患者 三八二名

計 四三四名

〇自十二月一日至十二月十日狩宿村「トラホーム」患者治療旬報

種別

生徒患者 五二名

其他患者 三八二名

計 四三四名

〇自十二月十一日至十二月二十日黒江町「トラホーム」患者治療旬報

種別

日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	合計
生徒患者	三	一	三	四	五	六	七	八	九	十	合計
其他患者	一八	二八	九	一三	三〇	四二	四九	二〇	二五	三二	三六八
計	二一	二九	一二	一七	三五	四六	五五	二八	三四	四二	二、五五八

日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	合計
生徒患者	三	一	三	四	五	六	七	八	九	十	合計
其他患者	一八	二八	九	一三	三〇	四二	四九	二〇	二五	三二	三六八
計	二一	二九	一二	一七	三五	四六	五五	二八	三四	四二	二、五五八

生徒患者三一〇名

其他患者一、一八名

計一、四二八名

○自十二月十一日至十二月二十日

村「トラホーム」患者治療旬報

十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日

生徒患者

其他患者

計

○自十二月廿一日至十二月卅一日池田村「トラホーム」患者治療旬報

二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日

生徒患者

其他患者

計

○自十二月廿一日至十二月卅一日岸上村「トラホーム」患者治療旬報

廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日

生徒患者

其他患者

計

○自十二月廿一日至十二月卅一日大谷村「トラホーム」患者治療旬報

廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日

生徒患者

其他患者

計

其他患者

〔大谷三六名
柏木三五名〕

八 | 二九 | 九 | 三二 | 七 | 三七 | 九 | 三八 | 一二 | 三七 | 一〇 |

計 〔大谷八名
柏木六四名〕

三七 | 九九 | 三八 | 九二 | 三六 | 六五 | 三一 | 七九 | 三六 | 七四 | 三四 |

○自十二月廿一日至十二月卅一日黑江町「トラホーム」患者治療旬報

種別

生徒患者 三〇名

其他患者 二八名

計 四二八名

○自十二月廿一日至十二月三十日岡町村「トラホーム」患者治療旬報

種別

生徒患者

其他患者

計

○自十二月廿一日至十二月卅一日大島村「トラホーム」患者治療旬報

種別

生徒患者 一八三名

其他患者 五七八名

計 七六一名

○自十二月廿一日至十二月卅一日狩宿村「トラホーム」患者治療旬報

種別

生徒患者 七五名

其他患者 三九九名

廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	合計
一六五	二二一	二二六	二三〇	二二二	二〇五	二〇三	二〇七	二二七	二二七	二二六	二、二九六
三〇	五六	三六	三四	三〇	二五	二〇	三〇	二五	一五	二〇	三二一
一六五	二二一	二二六	二三〇	二二二	二〇五	二〇三	二〇七	二二七	二二七	二二六	二、二九六

計
四
五
四
名

一九五 二六七 二五二 三六四 二三二 二三〇 二二三 二三七 二四二 二五二 二六六 二六八 二七〇

○自十二月廿一日至十二月卅一日北野上村「トラホーム」患者治療旬報

廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日 卅一日

合計

生徒番号	名
1	山田 太郎
2	田中 花子
3	佐藤 一郎
4	鈴木 健二
5	高橋 美咲
6	中村 大輔
7	小林 真由
8	渡辺 拓也
9	森田 由香
10	伊藤 光太郎
11	清水 美穂
12	山口 健一
13	松本 美奈
14	山崎 大樹
15	佐々木 真由美
16	高木 拓海
17	中島 美咲
18	小川 大輔
19	木村 真由
20	水野 拓也
21	森田 由香
22	伊藤 光太郎
23	清水 美穂
24	山口 健一
25	松本 美奈
26	山崎 大樹
27	佐々木 真由美
28	高木 拓海
29	中島 美咲
30	小川 大輔
31	木村 真由
32	水野 拓也
33	森田 由香
34	伊藤 光太郎
35	清水 美穂
36	山口 健一
37	松本 美奈
38	山崎 大樹
39	佐々木 真由美
40	高木 拓海
41	中島 美咲
42	小川 大輔
43	木村 真由
44	水野 拓也
45	森田 由香
46	伊藤 光太郎
47	清水 美穂
48	山口 健一
49	松本 美奈
50	山崎 大樹
51	佐々木 真由美
52	高木 拓海
53	中島 美咲
54	小川 大輔
55	木村 真由
56	水野 拓也
57	森田 由香
58	伊藤 光太郎
59	清水 美穂
60	山口 健一
61	松本 美奈
62	山崎 大樹
63	佐々木 真由美
64	高木 拓海
65	中島 美咲
66	小川 大輔
67	木村 真由
68	水野 拓也
69	森田 由香
70	伊藤 光太郎
71	清水 美穂
72	山口 健一
73	松本 美奈
74	山崎 大樹
75	佐々木 真由美
76	高木 拓海
77	中島 美咲
78	小川 大輔
79	木村 真由
80	水野 拓也
81	森田 由香
82	伊藤 光太郎
83	清水 美穂
84	山口 健一
85	松本 美奈
86	山崎 大樹
87	佐々木 真由美
88	高木 拓海
89	中島 美咲
90	小川 大輔
91	木村 真由
92	水野 拓也
93	森田 由香
94	伊藤 光太郎
95	清水 美穂
96	山口 健一
97	松本 美奈
98	山崎 大樹
99	佐々木 真由美
100	高木 拓海

其他患者

計
九名

九九
九九
九九
九九
九九
九九
九九
九九
九九
九九

○自一月一日至一月十日大谷村「トラホーム」患者治療旬報

和
別

一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 合計

生徒患者

一、大谷八二名
一、柏木二九名

其他患者

大谷二六名
柏木三五名

計
柏木六十八名

大谷三人
柏木六四名

一〇七	二四一	二二四
二三	五	三
六四	三五	
三九	二	
五四	二九	
二七	一三	
六二	三	
一八	三	
六一	二八	
一一	一一	
一一	一一	

○自一月一日至一月十日池田村「トラホーム」患者治療旬報

毛重	1.00
净重	0.80

一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 合計

生徒患者

六四名

計

一五八名

同	一八〇	四〇	同
同	一六六	二五	同
同	一五五	二〇	同
同	一八三	四〇	同
同	一六九	三五	同
同	二一〇	一六〇	同
同	一八八	四五	同
同	一二五	九五	同

○自一月一日至二月十日狩宿村「トラホーム」患者治療旬報

毛重
別

一日 二日 三日 四日 五日 六日 七日 八日 九日 十日 合計

生徒總覽

名

其他患者

名

一八四 一九八 一七六 一五八 一七七 一七九 一七〇 一五一 一九六 一、五八九

○慈惠救濟

○恩賜濟生會和歌山市內診療所大正四年自十一月二十日至十一月三十日十日間施療成績表

[illegible]

○正 誤

一月十二日發行縣報第三四〇號縣令第二號無盡營業者心得第六條中其金額トアルハ其金額ノ誤又第十條中無盡ノ日數トアルハ口數ノ誤

大正五年一月十七日印刷
大正五年一月十八日發行
大正五年一月十八日發行